

正岡小3・4年生 総合的な学習の時間「広げよう 思いやりの心」

ブラインドサッカーを体験しました。ブラインドサッカーは、名前の通り「見えない、サッカー」です。光を感じない全盲の方や著しく見えづらい弱視の方など、幅広い障がいのある人がアイマスクをつけることにより平等な状態でプレーできます。ブラインドサッカーを体験することで、視覚障がいをもつ人々の視点から世界を感じることができました。また、障がいに対する理解を深め、共感を高める機会にもなりました。普段の日常生活で、どれほど視覚に依存しているかを実感し、多様性への理解も深まりました。



【ブラインドサッカー体験】

目隠しをしてプレーするのは不安だな。ボールから出る音や友達の声、サポートが大切なんだ。音を頼りにボールを追いかけるのは初めてで新鮮だな。

普段は使わない感覚を研ぎ澄ます必要があるな。よく音を聞いてみよう。



しっかりと相手の目線で話すことも大事なんだね。安心して車椅子に乗ってもらうには挨拶も大事だな。

「坂がこわそうそうだな・・・。」しっかりと声を掛けながら車いすを操作したら安心してくれたよ。



【車椅子体験】

段差で車椅子に衝撃がこないか不安だな。車椅子のハンドルをしっかり握り、車椅子の前輪が段差を超える時に、一緒に軽く体重をかけたらいまいくかもしれないな。

無理に急がずに、車椅子に乗っている人のペースに合わせてサポートすることが大切なんだな。

広げよう 思いやりの心

他の人の立場に立って考えることは大切だと思いました。他人の気持ちを理解し、寄り添える人になりたいです。これからも、困っている人に手を差し伸べることを大切にしたいです。

パラスポーツには、通常のスポーツとは異なるルールや道具が使われていました。工夫してゲームを進める必要があるし、友達とコミュニケーションを取ることも大切だと分かりました。

正岡地区 社協だより

人口 1,831人 世帯数 943世帯
(男:870人 女:961人)
65歳以上 780人 (42.6%)
(令和8年1月1日現在:住基人口)
令和8年3月1日発行 正岡地区社会福祉協議会

『民生児童委員協議会会長就任のご挨拶』

正岡地区民生児童委員協議会 会長 神山 政盛

私はこの度、立町前会長の後任として、正岡地区民生児童委員協議会の会長に就任することになりました。微力ではございますが、社会福祉の増進に努めてまいりたいと考えます。

正岡地区は65才以上の比率が42.6%となっており、高齢化が進んでおります。お一人でお住まいの方は、誰かと誘い合って高齢者講座やサロン等に進んでご参加され、楽しい語らいによって充実した毎日をお過ごし下さい。また、正岡地区社会福祉協議会では活動の一環として、70才以上の独居高齢者及び90才以上の在宅高齢者並びに父子家庭・寝たきり高齢者に対して給食サービス事業を行っております。しかし、個人情報保護の関係もありサービスを受けられる方の把握が難しい状況です。もし該当される方ご自身、或いはご存じの方は担当地区の民生児童委員にご一報いただければ幸いです。

『正岡地区の民生・児童委員、主任児童委員』

令和7年12月1日付にて、各地区担当の民生児童委員と主任児童委員が任命されました。この度の改選では、八反地区担当の井上佐恵子さんと主任児童委員永井弥世さんが新任として、その他の地区担当と主任児童委員は再任されました。

(任期)令和7年12月1日～令和10年11月30日

氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区
毛利 久美子	院内・神田	神山 政盛	中西内	清水 慶子	正岡(主任児童委員)
別府 光子	高田	竹島 砂美	中西外	永井 弥世	正岡(主任児童委員)
井上 佐恵子	八反地				

<新委員あいさつ>



井上 佐恵子

この度、八反地区担当の民生児童委員に委嘱されました。正岡地区民協の諸先輩方や地区の方々々に支えていただき、皆様とのふれ合いを大切にしながら、精一杯努めていきたいと思っております。至らぬ点もあろうかと思っておりますが、宜しく願い致します。



永井 弥世

この度、主任児童委員を務めさせていただくことになりました。地域の皆様や関係機関の方々とはしっかりとつながることを大切にしながら、諸活動に取り組んでいきたいと思っております。至らぬ点もあありますが、どうぞよろしくお願い致します。

『共同募金・援助金のお礼』

正岡地区共同募金会として、関係諸団体との連携のもとに募金活動を展開し、多くの皆様にご協力をいただきました。地域の皆様とお世話いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。皆様から寄せられました募金の一部が、配分金として正岡地区社会福祉協議会に返ってきます。

実績額		365,500円
内訳	住民個別募金	298,500円
	企業等大口募金	67,000円

なお、共同募金大口寄付者(千円以上)の皆様は下記のとおりです。【敬称略、順不同】

- (有)重見建設、(株)愛媛環境開発、奥道後ゴルフクラブ、(株)ケイ・アール総合企画
- (有)中野自動車、かざはやクリニック、(株)NISSEI、(株)栲山設備、三浦工業(株)
- (有)小崎屋、聖マルチンの家職員互助会、(株)レコンプランニング、三好造園
- (株)ケンマツウラ・レーシングサービス、みづほ印刷、西原建設(株)、(株)琉染

また、北条仏教会から多額の援助金をいただきました。地域福祉の充実に活用させていただきます。



『正岡地区高齢者講座の開催』

12月5日(金)午後1時30分から正岡公民館にて、講師:かざはやクリニック土井内先生による「生活習慣病」の講座が開催されました。高血圧、高脂血症(脂質異常症)、糖尿病、メタボリックシンドローム等、高齢者にとって避けられないテーマであったことから参加者総数は61人に達し、生活習慣病に関する理解を深め、自分自身や家族の健康維持の大切さを改めて認識しました。

●受講風景



●2025年の主な死因
 がん 約24.3%、心疾患 約14.7%、
 老衰 約12.1%、脳血管疾患 約6.4%
 ●生活習慣病
 食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が発症・進行に関与する疾患群で、がん(悪性新生物)、心疾患(狭心症、心筋梗塞)、脳血管疾患(脳梗塞、くも膜下出血)等が含まれる。
 【生活習慣病の発症は、遺伝や社会環境などの複数要因も影響するので注意】

●参加者の感想

- ・自分がとても気にしている内容だったので、大変勉強になりました。今まであまりやっていなかったけど、これからは意識的に運動するようになりたいと思います。
- ・疾患や体型は遺伝だと思っていたが、遺伝より自分自身の生活習慣が重要な要因だと分かったので、他人のせいにはせず自分自身が気を付けたいと思います。

『三世代交流の開催』

12月14日(日)午前中、正岡公民館との共催で正岡地区高齢クラブ、正岡小学校PTA、地域団体等の協力を得て、三世代交流を実施しました。6年生の児童7名を含めて47名が参加し、「餅つき」、「しめ縄作り」に挑戦しました。

●餅つき



みんなで息を合わせて順番にエイッ!!

●しめ縄作り



おじいちゃん先生の指導のもと、一生懸命に頑張りました。

●参加者の感想

- ・もちつきでは、きねでもちをついたり、友達と一緒にしたりして楽しかったです。
- ・もちつきでは、力いっぱいつくことができ楽しかったです。昔の行事を大切にしたいです。
- ・しめ縄作りがとても難しかったけど、地域の方が教えてくださったので、上手にできました。
- ・もちつきは初めてでしたが楽しかったし、しめ縄作りはとても難しかったです。
- ・もちつきがとても心に残りました。初めて体験して楽しかったです。また参加したいです。
- ・みんなでもちつきをして、とても楽しかったです。しめなわ作りは初めてで、楽しかったです。

『正岡健康づくり教室の開催』

今年度も正岡健康づくり教室は地区の皆様のご要望に沿って、各地区の公民館分館で開催されました。松山市地域包括支援センター北条のご協力を得て当センター講師の指導のもと、高田集会所、八反地集会所、中西内集会所、北条ふれあいセンター、それぞれの分館にて血圧測定及び認知症サポーター養成講座が行われました。認知症高齢者への対応ビデオを交え、認知症サポーターとしての心がけを学び、併せて脳の体操(文字探しほめ合い等)や発声練習で認知予防を行いました。新しい認知症サポーター誕生へのはなむけ、並びに発声練習を兼ねて、素晴らしい音色のオカリナ演奏で締めくくられ、有意義かつ楽しい時間を過ごすことができました。

開催日	開催地区	参加人数
10月 22日(水)9:30~	高田集会所	21名
10月 29日(水)9:30~	八反地集会所	24名
2月 6日(金)9:30~	中西内集会所	32名
2月 13日(金)9:30~	北条ふれあいセンター	35名

●高田集会所



ほめられると、ちょっと恥ずかしい

ほめあい(お互いをほめあう練習)

●八反地集会所



あんこ
 あんぱん
 アンパンマン
 アイスクリーム

血がめぐって、脳が熱くなる。

文字さがし(1文字目を決め、文字数の多い単語を出す)

●中西内集会所



ゴー! ロック!

指示された番号順に手足を振り上げ!

コグニサイズ(脳と身体を同時に使う練習)

●北条ふれあいセンター



ごちそうさん、さあ家に帰るぞ!【お義父さん】

タクシーを呼びましょう。
 【息子の嫁】

寸劇(認知症家族の接し方:悪い例、良い例)

●参加者の感想やご意見

- ・いろいろ参考になることをありがとうございました。まず要介護にならないように認知症にならないように気をつけて、とにかく明るい毎日をすごせるようにがんばろうと思います。
- ・人の名前を忘れていく、子供から言われたことを聞いていないなど困ることが多いです。
- ・思ったように手足が動かさず戸惑いましたが、回数を重ねるうちに動くようになりました。日頃の運動が大切だと実感しました。
- ・要介護が必要となる一番の要因は「認知症になること」を学習しました。認知症サポートを受けることのないよう、日々健康で自立した生活を目指したいと思いました。